

平成30年度第2次補正予算の概要（消防庁関連）

総務課

平成30年度第2次補正予算が、2月7日（木）の参議院本会議において、賛成多数で政府案どおりに成立しました。昨年12月14日に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（以下、「緊急対策」といいます。）を含めた、追加歳出の規模は3兆351億円となっています。

その中で消防庁関係では、緊急消防援助隊の特殊車両の整備や消防団向けの救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の整備、救助用資機材に係る補助事業など、緊急対策に係る事業を中心に、平成29年度の補正予算を大きく上回る45.1億円を確保したところです。本稿では、その概要について解説します。

1. 緊急消防援助隊の充実強化（緊急対策による事業）

緊急消防援助隊の特殊車両や資機材の配備により、近年頻発している水害等への対応能力を充実強化するため、14.2億円を計上しています。

①津波・大規模風水害対策車、全地形対応車Ⅱ型の整備

津波や大規模風水害による浸水地域等の災害現場に、迅速かつ的確に消防力を投入することができるよう、津波・大規模風水害に対応する機動的な車両及びその搬送車を整備するため、4.9億円を計上しています。津波・大規模風水害対策車は6台、全地形対応車Ⅱ型は1台の整備を予定しています。



【津波・大規模風水害対策車】



【全地形対応車Ⅱ型】

②高機能救命ボートの整備

豪雨災害時等に救助活動を安全かつ効果的に行うための高機能な救命ボートを整備するため、1.8億円を計上しています。16台の整備を予定しています。



【高機能救命ボート】

③重機の整備

土砂崩れが発生した際の救助活動等を行うための重機と、その搬送車を整備するため、6.1億円を計上しています。9台の整備を予定しています。



【重機】

④映像伝送システムの整備

災害現場で撮影した映像をリアルタイムで情報提供し、大規模災害時における迅速な情報収集体制を構築することができるよう、消防庁及び指揮支援隊登録市町村に映像伝送システムを配備するため、0.4億円を計上しています。

⑤NBC訓練用資機材の整備

NBCテロによる災害に万全を期す必要があることから、消防大学校における訓練を充実するための訓練用車両やNBC検知器、救助資機材等を整備するため、1.1億円を計上しています。



【訓練用車両】



【NBC検知器】



【NBC災害対応訓練】

2. 消防団の装備・訓練の充実強化（緊急対策による事業）

今後想定される南海トラフ地震等や、台風・竜巻・集中豪雨等の大規模自然災害から住民を守るためには、地域防災の要である消防団の充実強化は非常に重要であり、また、平成30年7月豪雨等における消防団の救助活動において、災害が広範囲にわたり、現場の機動力や救助

